

# 渉外委員会事業計画

渉外委員会 委員長 永井 誠教

水戸青年会議所メンバーの平均在籍年数が短くなっており、68年の長い歴史の中で先達が国内外に渉り行ってきた運動の歴史や、欠かせない友好団体と築いた関係の成り立ちを再認識し、基礎を固めることが求められています。在籍年数の長短に関わらずメンバーに対して青年会議所運動への意欲や知識の底上げを図り先達が友好団体と紡いだ歴史を基礎として自信に満ち溢れた幅広い活動へ繋げ、更なる飛躍を目指す基盤の構築が必要です。

まずは、メンバーが高い関心をもって国際進出を進め、国を跨ぐ地域交流の魁となるために、姉妹締結5年目を目前に控えた嘉義国際青年商会との情報交換に、多くのメンバーが参加して行い姉妹締結からの歴史を振り返ることで、国外での事業展開に向けた広い視野と人脈をもち、多様な価値観をもつ仲間とネットワークを構築できます。そして、統一された意識で我々の運動をより高いレベルに飛躍させるために、宇都宮青年会議所が主管する第70回全国大会とちぎ宇都宮大会の様々なコンテンツとメンバーとを結び、大会情報や過去の絆を紐解く資料とともに配信してメンバーが全国の同志の作り上げた大会を体感することで、様々な繋がりを再認識でき同じ思いを胸に活動できます。さらに、我々が「大洗」に根差した活動をしていくために、地域資源やイベント、関係団体の情報を調査し魅力を再認識できるようLOM全体で共有することで、郷土愛が芽生えます。また、出向者が誇りをもって広域的な地域づくりを進めるために、活躍する出向者の動向を把握し諸大会の情報や出向者の活動を事前にメンバーに発信することで、日頃から出向者を支えます。

国際社会でより経験を重ね、先達が築いたLOMの歴史と伝統を受け継いだ我々は誇り高く自信に満ち溢れ、広域的に進める運動は青年会議所内にとどまらず広い地域に伝播し尊敬され水戸青年会議所は能動的市民を繋げるネットワークとして更なる飛躍を遂げます。

## <事業計画>

1. 嘉義国際青年商会との交流
2. 第70回全国大会とちぎ宇都宮大会を体感
3. 大洗町の魅力の探求
4. 対外との連絡調整と出向者支援